

近畿税政連

第223号

平成29年(2017年)

5月10日

発行所 近畿税理士政治連盟
発行人 久保直己 / 編集人 小川由美子

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



大和葛城山自然つつじ園より金剛山を望む(奈良県御所市)

撮影: 仕田原 恒雄(住吉支部)

■第5回川柳・書道コンテスト作品募集中!!

詳しくは
11ページへ



先日、近畿税理士会の選挙公報が手元に届いた。浅田会長をはじめ全役員の無投票による当選が確定した。今年は2年に1度の役員改選の年となるため、本会だけでなく各支部においても、支部長をはじめ幹事や監事の人選が行われていることと思われる。役員になられる皆様にはこれからの任期中、ご自身の事業に加えて会務に励んでいただけること感謝しつつ、税理士会がますます発展していくようにご努力いただくことを期待する。

税理士登録をした頃の頃、本会や支部の行事に参加はしていたものの、会務運営にどれだけの人が携わり、どんな目的があって、将来にわたってどれだけの意味がある

知るを連鎖させる

のか考えたこともなかった。総会の議案書や広報誌の一記事を読むだけではその重要性もわからなかった。何年かして声をかけていただき、支部の役員等をするようになってようやく理解できてきたように思う。

税政連の重要性や活動状況については当然周知されていることであるが、一般会員にまで幅広く理解されているかと言われればそうでもない。広報誌の発行回数を増やして活動報告等をしているがなかなか理解は進まない。支部や後援会、本部の役員をして初めてわかることがある。理解者を増やしていくにはこれまで経験のない方にも多く役員になっていただく。また、役員は機会がある毎に何度でも理解を求めよう一般会員にお話ししていく。この繰り返しが当たり前であるが大切である。

税政連活動に対する理解と協力を願って

近畿税理士政治連盟副会長 辻井賢博



辻井賢博

税理士制度がこの国で誕生して70余年。この間、たくさんの先人の苦勞により、この制度は、この国にとっては、なくてはならない制度として定着したといえる。人間社会は、長い歴史の中で、さまざまな制度を作っては廃し、廃しては再び作り上げることを繰り返してきた。

税理士制度もこの人間社会が作りだした素晴らしい制度の一つである。

それゆえに、社会構造の変化についていけなければ、衰退の憂き目に遭ってしまうかもしれない。だから、今を生きる税理士は、税理士制度の輝かしい未来のために、衰退の憂き目に遭わないよう、社会の変化に合わせた改革を進めていかねばならない。その改革は制度を守る「戦い」であるともいえるだろう。

しかし、税理士会は特別法の定めにより、税理士の指導・監督のために設立された団体である。税理士法により、税理士会は税制に関する建議権を認められてはいるものの、政治活動ができないため、関係諸官庁に建議書を提出するだけに留まる。それだけでは、折角の要望も日の目を見ることはない。

例えば、税理士制度をゆるがすような法改正が入ったときは、正しい理論的な観点から反対の意見を述べるしかすべを持たない。また、社会の変化に合わせた税理士法の改正を望むとき、その正当性を主張するが、官公庁を動かすことは、これまた容易なことでない。

しかし、税理士会とその会員を同じくする税理士政治連盟は、その政治活動を通じて国家の中枢に位置する政権与党や、国会議員に対して陳情活動を行うことができるのだ。

要するに、税理士政治連盟は税理士会の要望を実現するために、政党や国会議員などに働きかけができる唯一無二の存在である。税理士会と歩調を合わせて、国会議員に考えや要望をしっかりと伝え、国政の場で代弁してもらうために活動をしている。そして、その活動の成果が得られるように、税理士会に理解ある国会議員等に対して、選挙の際には推薦をし選挙支援活動をしたり、「税理士による国会議員等後援会」を設立し、後援会活動によって強い信頼関係を築いているのだ。

これまでの約50年間、こうして税理士会と税政連は強い関係性のもと、ともに活動した成果によって、世に必要不可欠な税理士制度が、体現化されていることは明らかである。そのわれわれには、さらにこれから50年先まで、次の世代の税理士や社会のために、税理士制度をさらに魅力のある制度に発展させる責務があるのだ。

そのためにも、政治活動を活発に行っていかなければならない。その活動を行うためには資金として会員から広く会費を集める必要がある。税理士政治連盟は会費の納入を強制することはできない。が、税政連の活動による恩恵はすべての税理士が等しく享受している。にも関わらず、その活動に関心を示さないで、会費も払わないというのはいかがなものだろうか。どうか税理士制度を守るためにも、すべての税理士会員に心からご理解とご協力をお願いしたい。そして、今日からみんなで税政連活動をしようではないか。

目次

焦点	1
税政連活動に対する理解と協力を願って	2
国会議員等による確申期税務相談会場の視察	3
後援会ニュース	7
第5回川柳・書道コンテストの案内	11
かんさいすずめ	15
銀河系	15

国会議員等による確申期税務相談会場の視察

近畿税理士会では、平成28年分の所得税確定申告において、納税義務の適正な実現を図ることを目的とする税理士の立場及び税理士業務の社会公共性・独占性に鑑み、各支部において税務相談会場、税理士会館ではコールセンターを運営し税務支援、税務指導等の施策が実施された。

当連盟では、税理士会が行っている社会貢献事業である税務支援について、関係国会議員等に理解を得るため、税務相談会場の実情視察方を要請したところ、34人の国会議員等が50の相談会場を視察した。

視察では、税理士による国会議員等後援会役員、支部及び支部連役員、本部役員が議員等を案内するとともに、近税会支部役員の協力を得

て、税務支援の抱える問題点や、無料相談の意義について説明を行った。また、相談に訪れた納税者と直接対話する機会もあり、中小事業者をはじめとする納税者の実情について理解を深めて頂いた。

視察を行った国会議員等からは、税理士が地域の中小事業者をはじめとする納税者に対し長年にわたり税務支援を行っていることに謝意が表され、申告納税制度の維持発展のために税理士が果たしている役割は多大であるとの認識を新たにされることになった。

視察後はそれぞれ国会議員等との懇談会を実施し、平成28年度税制改正において実現した項目について御礼申し上げ、さらなる要望の実現を求め陳情を行った。

平成28年分「所得税確定申告期における税務相談会場」の視察状況

院	視察議員氏名	選挙区	政党	視察月日	視察会場
衆	左藤 章	大阪2区	自民	2月20日(月)	阿倍野納税協会・東住吉納税協会
衆	中山 泰秀	大阪4区	自民	2月28日(火)	大阪合同庁舎第2号館別館・梅田スカイビル
衆	大塚 高司	大阪8区	自民	2月13日(月)	千里朝日阪急ビルA&Hホール
衆	原田 憲治	大阪9区	自民	2月10日(金)	茨木市役所
				2月20日(月)	箕面文化交流センター
衆	北川 知克	大阪12区	自民	2月27日(月)	四條畷商工会館
衆	宗清 皇一	大阪13区	自民	2月20日(月)	JAグリーン大阪
衆	竹本 直一	大阪15区	自民	3月6日(月)	すばるホール
衆	北側 一雄	大阪16区	公明	2月13日(月)	堺市産業振興センター
衆	伊吹 文明	京都1区	自民	3月13日(月)	中京納税協会・下京納税協会
衆	前原 誠司	京都2区	民進	2月3日(金)	京都銀行下鴨支店
				2月8日(水)	京都市東部文化会館
衆	関 芳弘	兵庫3区	自民	2月20日(月)	アスタくにつか5番館・須磨納税協会
衆	渡海 紀三朗	兵庫10区	自民	3月6日(月)	ニッケパークタウン本館・加古川納税協会
衆	松本 剛明	兵庫11区	無所属	2月13日(月)	税務会館(姫路)
衆	山口 壯(代理)	兵庫12区	自民	3月2日(木)	龍野商工会新宮支所・赤穂商工会議所
衆	岸本周平	和歌山1区	民進	2月20日(月)	和歌山県税理士会館
衆	うえの 賢一郎	滋賀2区	自民	3月6日(月)	彦根商工会議所
衆	大西 宏幸	比例近畿	自民	2月27日(月)	大阪合同庁舎第2号館別館
衆	松浪健太(代理)	比例近畿	維新	2月20日(月)	高槻現代劇場
衆	平野 博文	比例近畿	民進	2月6日(月)	交野市役所別館
衆	谷川 とむ	比例近畿	自民	2月13日(月)	たじりふれ愛センター
衆	安藤 裕	比例近畿	自民	2月7日(火)	宇治産業会館・城陽福祉センター
衆	盛山 正仁	比例近畿	自民	3月6日(月)	灘納税協会
衆	川端 達夫	比例近畿	民進	2月6日(月)	明日都浜大津
参	松川 るい	大阪府	自民	2月20日(月)	天王寺区役所
参	柳本 卓治	大阪府	自民	2月20日(月)	浪速区産業会館・西成納税協会
参	西田 昌司	京都府	自民	3月13日(月)	下京納税協会
参	福山 哲郎	京都府	民進	2月6日(月)	京都府中小企業会館
参	二之湯 智	京都府	自民	2月20日(月)	長岡京市役所・西陣織会館
参	伊藤 孝江	兵庫県	公明	2月17日(金)	うはらホール
参	鴻池 祥肇	兵庫県	自民	2月7日(火)	尼崎市園田地区会館
参	こやり 隆史	滋賀県	自民	2月20日(月)	八日市市文化芸術会館
非	吉田 おさむ	非現職	民進	2月9日(木)	城東区民センター・都島区民センター
				2月21日(火)	大阪合同庁舎第2号館別館・梅田スカイビル
非	西野 弘一	非現職	無所属	2月24日(金)	JAグリーン大阪
非	尾立 源幸	非現職	民進	2月20日(月)	大阪合同庁舎第2号館別館・大阪府社会福祉会館・西成納税協会

※政党名は、視察時の政党名を記載しております。

税務相談会場の視察の様子

1



左藤 章 衆議院議員 (左)



中山泰秀 衆議院議員 (中央)



大塚高司 衆議院議員 (中央)



原田憲治 衆議院議員 (前左から2人目)



北川知克 衆議院議員 (左から2人目)



宗清皇一 衆議院議員 (左から2人目)



竹本直一 衆議院議員 (右から2人目)



北側一雄 衆議院議員 (中央)



伊吹文明 衆議院議員 (右から4人目)



前原誠司 衆議院議員 (左から2人目)



関 芳弘 衆議院議員 (中央)



渡海紀三朗 衆議院議員 (右から4人目)

税務相談会場の視察の様子

②



松本剛明 衆議院議員(右から2人目)



岸本周平 衆議院議員(一番右)



うえの賢一郎 衆議院議員(左)



大西宏幸 衆議院議員(右から2人目)



平野博文 衆議院議員(中央)



谷川とむ 衆議院議員(左から3人目)



安藤 裕 衆議院議員(右)



盛山正仁 衆議院議員(右から2人目)



川端達夫 衆議院議員(中央)



松川るい 参議院議員(右から4人目)



柳本卓治 参議院議員(右から3人目)



西田昌司 参議院議員(右から3人目)

税務相談会場の視察の様子

3



福山哲郎 参議院議員 (中央)



二之湯智 参議院議員 (左から 2 人目)



伊藤孝江 参議院議員 (中央)



鴻池祥肇 参議院議員 (中央)



こやり隆史 参議院議員 (左から 3 人目)



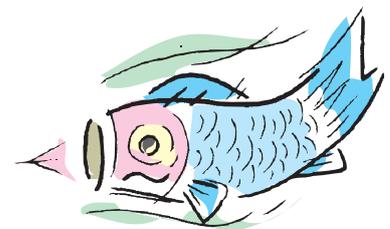
吉田おさむ 元衆議院議員 (右から 2 人目)



西野弘一 前衆議院議員 (左から 3 人目)



尾立源幸 前参議院議員 (一番右)



近畿税理士政治連盟 第51回定期大会

日時：平成29年 9月15日 (金) 13時～
場所：帝国ホテル大阪

後援会ニュース

渡海紀三朗後援会

1月15日、税理士による渡海紀三朗後援会の定期総会・懇談会及び懇親会が、加古川プラザホテルにおいて開催された。

来賓として、渡海紀三朗衆議院議員と徳富勲近税政副会長が出席した。



司会の澤木俊昌後援会幹事長の開会あいさつにより、定期総会が行われた。有村昌紀後援会会長が総選挙を見据えて支援をしていきたいとあいさつし、続いて活動報告等が行われた。その後、来賓の徳富近税政副会長が「渡海議員の後援会は歴史が古い。数は力と言えるので、さらに盛り上げていってほしい」とあいさつした。

次に、懇談会が行われ、渡海議員より国政報告として、補正予算や来年度の予算編成の方針、税制改正の方向性、中小企業政策や格差是正に対する国の取り組み等について説明があった。

続いて質疑応答があり、配偶者控除をもっと総合的な視野で検討してほしいとの要望や中小企業と大企業の格差等に関しての活発な意見交換が行われた。

引き続き、藤原千明副会長の「後援会としてもっと活発に活動していこう」との乾杯の音頭により、懇親会が開催された。終始なごやかな雰囲気で見聞交換が行われ、平崎泰彦副会長が、来る選挙の際には一層の支援をしていく旨を宣言し、盛会のうちに散会した。

(明石支部 川淵佳子)

とかしきなおみ後援会

日時 平成29年1月20日

場所 サニーストンホテル(吹田市)

来賓 とかしきなおみ 厚生労働副大臣

後藤 圭二 吹田市長

田 達満 近税政幹事長

九鬼 章泰 近税会吹田支部支部長

金子 薫 近税政大阪第3支部連会長



司会の福田洋子副幹事長が開会を宣し、平山直樹後援会会長の来賓紹介の後、とかしき副大臣は次期選挙において完勝を目指す力強い決意表明があり、続いて、後藤吹田市長が高槻市・豊中市に続く中核都市を公約に掲げ、吹田市はつくば市と並んで「住みよい街日本一」とであると強調した。

次に議事に入り、前田明仁事務局長が第1号議案から第3号議案を説明し、慎重に審議され、原案どおり満場一致で可決承認した。

田近税政幹事長・金子支部連会長のあいさつの後、とかしき副大臣が国会初日のため着物姿で出席し「今回の税調の厚生労働関係の税制についてはかなり意見を通してもらった」と話があり、小倉毅副会長が閉会の辞を述べた。

その後、懇親会では、豊田みのる大阪府議会議員(代理)、とかしき副大臣のお礼に続き、九鬼支部長の乾杯の下で、終始和やかな雰囲気の中、盛会の内に今中英雄相談役の万歳三唱により閉会した。

(吹田支部 高木晴雄)

奥野しんすけ後援会

1月21日に割烹ふたがみにて、税理士による奥野しんすけ後援会の定期大会が開催された。

来賓に奥野しんすけ衆議院議員、河田秀雄近税政副会長、山本眞市奈良県支部連合会会長、久保正義葛城支部長が出席した。



定期大会では今後の後援会の活動方針、会計報告が主な議題として上程され可決承認された。今後も国会に我々税理士の声を届けていただける代弁者として奥野信亮議員を支援し、選挙が実施されるときには、一丸となって支援することを確認した。また、会計報告についても異議なく了承した。

次に、政府の次年度税制改正作業の開始時期に合わせて、日税連と日税政が毎年策定する税制改正要望書に基づく地元選出代議士への効果的要望活動が望まれるところ、本年9月頃の当会の集まりを企画することが全会一致で決定した。数年前からの懸案事項であったが、自然災害などのため計画倒れとなった経緯もあり、今年はぜひ実現したい。さらに本年は役員改選の年度にあたるものの、奈良県選挙区定数削減の問題もあり、全員が留任した。最後に河田近税政副会長からあいさつがあり、定期大会は無事終了した。

このあとの意見交換会は、奥野議員から現在の国政状況に関する様々な話、憲法改正談義などを交えながら、楽しくそして和やかなうちに終了した。

(後援会寄稿 辻井賢博)

前原誠司後援会

税理士による前原誠司後援会第12回総会および第13回国政報告会が、1月28日に京都ホテルオークラにて開催された。

来賓として前原誠司衆議院議員、近税政より田達満幹事長、京都府支部連より室谷澄男会長、坂部浩幹事長が出席した。



中川勉事務局長の司会により、開会が宣言され、吉澤俊二後援会会長より「総会に出席いただき感謝するとともに、前原議員を全面的に支援していきたい」とのあいさつがあった。

次に、議長が選出され、議事に入った。議案はすべて原案通り、可決承認された。

来賓として、近税政の田幹事長より「社会保障を含め、抜本的な改革が必要である。引き続き前原議員へのご支援をよろしくお願ひしたい」とあいさつがあった。室谷会長より「安心して働ける日本になるように前原議員の活躍に期待する」とあいさつがあった。

続いて、前原議員より「皆様のご支援をいただき、この場をお借りして感謝申し上げます。社会保障の改革、国民負担率を上げて再分配政策をどう示していくのか。教育の無償化など現役世代への再分配を実現させたい。これからも税理士の皆様のご支援をいただきながら成長していきたい」とあいさつがあった。

最後に佐々木高明幹事長による閉会のあいさつの後、総会は終了した。

引き続き、懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。 (中京支部 久乗一姫)

高市早苗後援会 新春の集い

日時 平成29年1月28日

場所 奈良ロイヤルホテル

来賓 高市 早苗 総務大臣(奈良2区)

田 達満 近税政幹事長

山本 眞市 近税政奈良県支部連会長

岩田 守生 近税会奈良支部長



◆武野勝文 後援会会長 あいさつ

今回の新春の集いに多くの会員、そして大臣として要職についておられる高市大臣にも参加いただき望外の喜びである。しっかり交流をはかり楽しんでいただければ幸いです。

◆田 達満 近税政幹事長 あいさつ

総務大臣として活躍され、後援会も活発に活動し高市大臣を支えている。税制改正大綱では税政連からの要望を実現していただいている。今後、抜本的改革が必要であり税政連の意見を斟酌していただきたい。

◆高市早苗 総務大臣 国政報告

日本はTPP対応でアメリカを説得しなければならない。総務省として国家戦略であるインフラシステムの輸出の一環として、日本の優れた郵便システム等の国際展開を推進しています。我が国の郵便システムは、日本企業の優れた知見に支えられた品質の高さで、世界から大変高い評価をいただいております。

また、総務省で意見交換の場を作り、現場の声が政府職員に届く環境を作り、様々な分野で新たに変える政策がないか提言していきたい。

(奈良支部 黒田有紀)

北側一雄後援会 新春談話会

日時 平成29年2月3日

場所 ホテル・アゴラリージェンシー堺

来賓 北側 一雄 衆議院議員

井戸本泰次 近税政副会長

北側一雄衆議院議員による新春談話会が開催された。池田真由子幹事の司会により開会が宣言され、竹内芳彦後援会会長より「会員数の増加へのご協力をお願いします」との開会のあいさつがあった。

続いて、来賓の井戸本副会長から「多数の若い会員の活躍を期待する。トランプビッグバンと評されているが、これを乗り越えるためには自民党と公明党との連立安定政権を維持することが大切である。税政連活動に対してなお一層のご支援、ご協力をお願いしたい」と述べた。



続いて、北側議員の国政報告へと移り「トランプ政権の樹立による日本への影響が大きい。まず第一は安全保障の問題、現実的な課題であり東アジアの安全保障にとって日米同盟の維持が不可欠であり、政治家が真剣に考え行動していかなければならないテーマである。第二は成長と分配の好循環が生まれないと、経済は良くならない。生産性の向上・利益の従業員への反映の仕方・下請け企業への慣行の改善が大切である。そのための活動を行ってきた」と報告した。

終了後、池田茂雄前後援会会長の乾杯により意見交換会が始まり、北側議員と和やかに懇談し、盛会裏に終了した。(堺支部 東俊夫)

松本たけあき後援会

日時 平成29年 2月 4日

場所 森富(兵庫県姫路市)

来賓 松本 たけあき 衆議院議員

河田 秀雄 近税政副会長

後藤 加代子 兵庫県第4支部連会長

定期大会では、役員改選などの議案がすべて可決承認された。

●松本たけあき 衆議院議員 あいさつ

今は無所属であるが、まず統一会派入りして、次の解散総選挙に向けて、しっかりと選挙調整を行いたい。そのためには後援会の方々に応援していただき、その期待に応えていきたい。地域の力、一人一人の力を活かして日本の強みを発揮し、夢と安心のある国づくりを目指していきたい。

●河田秀雄 近税政副会長 あいさつ

税政連は、中小法人に対する税負担という観



点から、常に公平、簡素な税制改正に向けて働きかけている。事業税の外形標準課税は、いつも議題に上がってくるが、阻止しなければならない税制である。

●後藤加代子 第4支部連会長 あいさつ

松本議員には、いつも納税相談の視察をいただき、ありがとうございます。松本議員には、いつ選挙があってもいいように準備をしていただき、私達も応援していきたいと思ひます。

(姫路支部 上野政則)

KINZEISEI

トップを飾る写真を募集しています

近畿税政連では、次の写真を募集しています。

①近畿税理士政治連盟HP (<http://www.kinzeisei.jp/>)

のトップページの写真

テーマ:「近畿地方のお城」

②近畿税政連の機関紙の表紙写真

自由作品 (季節性や話題性のあるものなど)

※作品の著作権は近畿税理士政治連盟に帰属し、利用させていただきます。

※作品は未発表作品に限ります。

トップを飾るにふさわしい写真をお待ちしております。



応募先

・メール(データ)で提出される場合は、作品と「名前・支部名・登録番号・写真タイトル」を記載の上、info@kinzeisei.jp まで送信してください。

・現像で提出の場合は、作品裏に「名前・支部名・登録番号・写真タイトル」を記載の上、下記まで郵送してください。
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館5階 近畿税理士政治連盟 広報委員会 行

広報委員会からのお知らせ

まもなく
締切

第5回

『川柳』『書道』コンテスト
のご案内

平素は近畿税理士政治連盟へのご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
さて本年度も、近畿税政連の広報活動の一環として、会員の皆様に当連盟に慣れ親しんで頂くために、『第5回「川柳」「書道」コンテスト』を開催させて頂くことになりました。

下記の要領で募集いたしますので、どうぞお気軽にご応募ください。

応募要領

- | | | | | |
|----------|----------------------|------|--|-----------------|
| ①川柳コンテスト | | | | 『近畿税政連』
『焦点』 |
| ②書道コンテスト | テーマ部門 | 題字 | | |
| ③書道コンテスト | 自由部門 | 題字自由 | | |
| ④書道コンテスト | 硬筆部門 | | | |
| | テーマ(税理士法第1条冒頭より20文字) | | | |

応募作品 近畿税理士政治連盟を盛りあげるような作品をお待ちしております。

応募期間 平成28年9月9日(金)～平成29年6月16日(金) 必着

応募資格 近畿税理士会員に限ります。

応募点数 各部門3点まで(ただし、入賞は各部門1人1点)

応募規定 ■応募作品は制作から1年以内のものに限定します。
■過去に応募されたことのある作品は対象外とします。

■書道コンテストの作品サイズ

書道コンテスト テーマ部門 半切・八ツ切(左から横書き)

書道コンテスト 自由部門 半紙・半切・八ツ切

書道コンテスト 硬筆部門 指定応募用紙(1行10文字×2行以内)

応募方法 作品に次のものを記入した応募票(形式自由)を貼付して応募してください。

①応募部門、②支部名、③登録番号、④氏名、⑤制作年月日

⑥作品に対するコメントや説明(100字以内)

参加費用 無料

審査方法 1次審査: 広報委員会による審査
2次審査: 外部の審査員による審査(予定)

表彰式 平成29年9月中旬
(各部門) 最優秀会長賞・優秀賞・入選

※入賞作品は機関紙に掲載いたします。

応募用紙・応募票は、近畿税政連
ホームページの**会員専用ページ**か
らダウンロードが可能です。
近税政HP:

<http://www.kinzeisei.jp/>

応募先

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館5階

近畿税理士政治連盟 広報委員会 行

※川柳コンテストにつきましては、FAXでもご応募いただけます。
(FAX:06-6944-9050)

■作品の著作権は近畿税理士政治連盟に帰属し、機関紙への掲載等広報活動に利用させていただきます。

設立50周年 協力募金 ご協力に感謝いたします

平成29年4月18日までに、以下の1000人の会員先生方にご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

【東支部】
 相間 靖三
 相間 宏章
 安達 正八
 池上 義孝
 石岡 教生
 泉 洋平
 植木 心一
 上田 久之
 梅崎 道夫
 大蔵 俊男
 大西 英樹
 岡市 正彦
 掛 善秀
 加藤 正親
 金井 博基
 金谷 昌恭
 金子 秀哲
 河合 晃男
 川人 正孝
 勘場 義明
 北川 茂美
 清澤 由己
 日下 敏彦
 耕 泰一郎
 小林 佐敏
 小山 史郎
 是川 武士
 衣目 修三
 近藤 雅人
 坂本 芳博
 櫻井 精四郎
 佐藤 善恵
 佐名 木定夫
 佐野 八朗
 志賀 恒元
 杉 孝一
 瀬川 昇
 關 典
 關 稔
 高岡 啓介
 竹原 重光
 田多 理
 田中 祥宏
 谷口 和夫
 田村 守
 塚田 良幸
 出口 源太郎
 田 雄一郎
 土佐 和史
 戸島 利夫
 中松 愼吾
 中山 繁太郎
 中山 準一郎
 檜崎 隆章
 新田 実

則枝 征克
 春好 崇樹
 平口 勲
 藤井 幸三郎
 藤田 義則
 寶官 一磨
 本田 昭吉
 増田 和彦
 榎家 小鈴
 松岡 大藏
 松原 博吉
 松本 常裕
 丸山 澄高
 三谷 智
 宮本 和雄
 森下 巳代治
 森下 芳一
 山田 一彦
 矢本 博三
 弓場 和佐
 横山 武宏
 吉川 勝
 吉田 公也
 吉塚 健
 和田 勝弘
【西支部】
 石井 基行
 大庭 萬三
 木村 守夫
 杉田 宗久
 田中 一郎
 西関 善次
 丹羽 達也
 長谷部 貴史
 松井 ひとみ
 山根 壯介
 横山 良次
 吉栖 照美
 吉村 政勝
【港支部】
 岩水 明
 岡 訓範
 岡田 武忠
 新名 徹
 曾谷 敏勝
 西村 典雄
 秦 雅彦
 松本 昭二
【南支部】
 浅田 洽爾
 猪飼 哲也
 池内 國雄
 上野 和雄
 上野 義雄
 宇都宮 正
 宇都宮 久嗣

大坂 雅己
 大西 絹吾郎
 奥田 順
 川口 晃司
 北川 貴敏
 北原 慶光
 北村 慶和
 木原 美津恵
 國分 博史
 古寺 均
 笹田 淳
 貞方 建吾
 甚田 隆康
 杉本 和裕
 須田 忠義
 竹田 三徳
 辰巳 正純
 谷口 輝則
 出口 忠伸
 中川 修
 中川 諭
 中谷 健作
 西宮 宣之
 平井 慶一
 藤岡 直吉
 北條 慶子
 松本 五平
 室田 一榮
 森川 優
 山科 治三郎
 吉田 節子
 吉田 太三
 若林 日出紀
【浪速支部】
 岩橋 一好
 内海 清次
 榮村 聡二
 柏山 行雄
 下間 茂
 竹田 平八郎
 中谷 裕之
 檜垣 典仁
 藤原 伸彦
 森 英雄
【北支部】
 芦田 和典
 阿部 泰生
 石井 國男
 井上 悦治
 大高 俊生
 大橋 生佳
 加用 俊栄
 河合 憲一
 川北 光博
 川崎 哲之
 川瀬 亮太郎

木原 義和
 久保 良介
 黒石 健弘
 黒川 文雄
 小山 和人
 齋藤 二三昭
 柴崎 光徳
 下山 隆一郎
 高田 道啓
 武智 寛幸
 玉城 祥啓
 辻 弘
 辻村 登志子
 豊原 正嗣
 中島 嘉文
 中瀬 進一
 中瀬 令造
 中野 洋
 那須 弘敬
 橋爪 功次
 早川 隆三
 林 哲郎
 播本 治男
 古橋 明彦
 古橋 忠男
 蓬萊 富雄
 堀 三芳
 松野 英親
 松本 圭一
 眞野 新
 村上 圭
 山本 安弘
 湯浅 眞明
 吉田 知義
 吉竹 英之
【福島支部】
 青木 節子
 今崎 民治
 小泉 丹二
 谷口 和哉
 中田 隼人
 山神 清二
【大淀支部】
 池辺 健
 市川 義人
 今中 徳治
 小山田 明
 木下 泰三
 古賀 幹雄
 佐藤 裕之
 佐藤 正尚
 鯖戸 正造
 杉上 七三夫
 杉藤 忠正
 鷺見 昭雄
 武田 正徳

徳井 正浩
 西田 隆郎
 西山 芳樹
 野津 香代子
 早崎 允清
 福田 平司
 前川 武政
 松浦 圭子
 松岡 昭
 松下 隆信
 八木 昭
 八木 春作
【西淀川支部】
 入江 壽夫
 入江 桃子
 酒井 勇樹
 末永 義孝
 田里 眸
 土本 拡美
 仲田 むつみ
 矢野 健太郎
【東淀川支部】
 荒家 高志
 石橋 幸二
 大西 賢藏
 小形 俊夫
 金子 重二
 神吉 康史
 酒井 博史
 酒井 庸造
 高瀬 久一
 武田 明
 坪久 田 登
 中村 靖弘
 平野 隆照
 藤原 浩
 松本 英夫
 森本 好昭
 山村 行仁
 山本 多通男
【旭支部】
 赤松 由里子
 旭 輝明
 天野 香鶴子
 五十嵐 良子
 上田 初幸
 上田 実
 上村 京勲
 大久保 一成
 加賀 元久
 河内 永子
 久木 野正志
 小山 利巳
 上保 博
 高田 裕久
 中川 正治

中島 正悟
 新田 博之
 春名 建吾
 松井 光浩
 三瓶 智美
 見浪 一敏
 宮下 公司
 山田 忠良
【城東支部】
 尾崎 浩文
 河田 秀雄
 小寺 隆弘
 駒井 良一
 佐藤 博幸
 中尾 一仁
 広瀬 芳和
 宮本 俊弘
【枚方支部】
 石原 紀一
 大森 正
 大森 布美子
 島津 聰
 鳥津 正和
 田中 克実
 太矢 努
 中谷 廣一
 橋本 光世
 林 武
 平松 正幸
 福田 敏彦
 藤原 和彦
 道廣 友厚
 道廣 裕子
【門真支部】
 大崎 正博
 大志 万泰範
 神原 隆雄
 久保田 金次郎
 志水 龍起
 菅原 正治
 谷口 喜久雄
 寺澤 昭洋
 中島 勤
 吉川 武男
 吉田 謙一
【天王寺支部】
 浅田 恒博
 石原 健次
 井戸本 泰次
 稲田 繁
 今井 基剛
 上西 左大信
 内田 伸男
 岡本 春市
 岡本 好正
 奥 光明

折井 卓 金山 満博 北浦 絢也 久木田宣昭 倉矢 勇 坂上 行男 坂口 明久 嶋仲 直隆 菅原 宏平 妙 茂樹 高橋 孝志 高橋 康人 田中 保雅 辻本 好広 徳 芳郎 中尾 隆彦 苗村 正弘 南口 純一 西山 正彦 橋本 香世 松岡 寿子 山田 榮一 山田 裕一 山本 敬三 山本 哲三 脇阪 説男 渡部 七サ [生野支部] 池田 清明 池田 隼啓 池田 啓朋 今榮 雅英 小川由美子 澤渡 聰謹 高木 康之 文字 和毅 吉岡 富雄 渡邊 治男 [東成支部] 下河内邦彦 中山 寿光 原田 徹 保泉 幸雄 横井 郁忠 [阿倍野支部] 恵納 務 小林 邦雄 斎藤 良介 瀬戸 繁治 千村 高司 橋森 宣正 東島 憲明 宮本 玲子 山脇 守 結城 順吉 若原 國宏 [東住吉支部] 荻堂 直樹 岸村 次郎 桑野 秀朗 坂井 純造 佐々木達郎 笹野 博文 天雲 浩一	新居誠一郎 長谷川孝夫 福田 尚武 福山 隆之 南野 喜徳 山村 三郎 [西成支部] 小倉 文彦 楠本 雅一 中山 彰 藤本 正人 [住吉支部] 秋山 利元 池上 弘美 泉谷 栄二 沖 建一 金井恵美子 北川 匡祥 仕田原恒雄 下野 三郎 瀬古 順子 田中 圭子 田 達満 柄本彌四郎 中野 雅司 中野 雅司 西村 敏之 橋本 良弘 廣瀬 昌子 外園 善弘 増田 和博 松本 正昭 森本 勝志 藪内 重人 山下 孝士 山下由美子 大和 司 [富田林支部] 栗田 豊滋 後藤 淑子 瀧藤 憲彦 辻本 勇 中村 三男 濱 幸一 東湊 正治 平山登志雄 松尾 八郎 [東大阪支部] 石賀 良明 石津 良行 石橋 明史 井筒 潮 上西 知 金田 光世 澤井 暎治 嶋田 薫 嶋本 新一 砂本 清 高岡 稔 高田 哲三 中口 哲久 中下 寛治 中村 智之 野呂 怜子	濱田 明久 平野 惠俊 広村 孝司 藤村 恭弘 藤本 幸三 政本 彰人 松田 章 松本 哲也 八木 隆行 山口 正輝 雪松 茜 雪松 弘 弓手 宏亮 吉城 鉄也 吉田 信次 [八尾支部] 小柳 徳夫 小林 昭一 杉井 卓男 八田 光子 大和 剛 [堺支部] 東 俊夫 池田 茂雄 池田真由子 伊藤 憲司 井上 宗保 白間 真次 大谷富太郎 岡田 良次 櫻木 正人 栗田 健吾 柴田 正吉 高松 慶暢 竹内 芳彦 忠岡 博 谷田 勝彦 西尾 重則 八文字正裕 平林 誠 福森 哲二 森 敏則 山口 忠芳 渡辺 秀介 [泉天津支部] 石谷 秀志 大西 博己 幸野 陸紀 阪 広久 高岩 弘至 阪東 寛 南 四郎 [岸和田支部] 蘆原 賢一 北野 信成 木戸 伸男 清原 正治 坂口 和代 永橋 利志 森田 敏裕 山田 晴彦 吉田 英明 和田 章 [泉佐野支部]	川畑 行輝 木戸 朋宏 坂本 博文 田中 洋 谷口昇一郎 呑海 英治 昼馬 義宏 松浪 武久 真鍋 光廣 和中 信隆 [茨木支部] 伊月 圭子 伊藤 良昭 稲見 宗彦 今中 英雄 小國 英男 鎌田久美恵 北村 良雄 榊山 京子 笹原 克重 杉山 孝一 太尾田 博 高岸 久典 高林 克行 武田 信央 土井原弘司 仲 猛夫 長井 良明 中澤 保恵 中西 邦彦 中村 憲次 中村 光子 蓮池 清志 服部 好伸 廣瀬 隆一 藤井 信行 古屋 秀典 本田 武士 松岡 久枝 宮口 太 宮田 義見 村上 健司 本西登志志 森下 忠志 山内 幹雄 吉永 直也 [吹田支部] 東 秀夫 岡本 昌平 小倉 毅 金子 薫 高木 晴雄 田畑 宏 玉井 敬尚 蓮池 章弘 平山 直樹 前田 秀雄 [豊能支部] 安積 重和 井関 孝之 上野 弘之 衛藤 雄次 太田 昌男 大西 尚史	荻野眞由美 奥村 量之 小島 隆 座間 昭男 関谷 洋子 高砂 昭宏 田中 啓允 土橋 哲夫 中西 節子 間 茂彦 林 宏昭 平安 弍作 平山 高明 藤阪 保文 柰田 定子 三木 康彦 村木 眞志 森田 茂稔 和田 浩孝 [上京支部] 東 智之 奥村 和義 河村 吉宏 小西 嘉次 近藤 明夫 藤田 一裕 北條 巖 北條 達人 松村 一郎 三宅 崇史 室谷 澄男 矢田 善久 山畑 文雄 渡邊 重樹 [中京支部] 芦田 勝博 岡松 聡 香川 恭子 金谷 俊昭 河原林温朗 小坂 文夫 坂部 浩 土居 澄江 土井 赳 中村 裕人 日向 明泰 福島 重典 松本 安弘 村井 淳一 [下京支部] 荒尾 正久 井上 敏男 海来 美鶴 榎 和哉 岡本 正 北村 善和 後藤 康介 笹岡 憲一 志田 育夫 竹村 一志 土井 充 富村 将之 西田 昌司 橋本 清治	原 綱宗 山崎 武義 [右京支部] 石原 牧 今西 衛 上椋 精二 河合 典之 岸本 郁男 九鬼 郁雄 下林 忠夫 谷口 康夫 中江 嘉和 藤田 高広 船越 善博 山根木雅也 吉田 和之 [左京支部] 井戸 巳之 河村 澄子 北村光一郎 谷松 普史 二股 茂 村中 研治 山田 正克 吉澤 俊二 [東山支部] 石田 善久 作見 蔵市 佐々木高明 中田 久弘 藤岡 忍 藤原 俊文 [伏見支部] 赤岩 綾 石川 清 市川 晃 植田 順 岡部 智弘 幡山 玲子 林 光伸 [宇治支部] 井上 玲子 大高 友紀 岡田 文彦 片野 晏弘 小泉 孝一 高瀬 哲也 樋口 敏夫 松本 樹也 湯浦 正信 [園部支部] 関本 孝一 平井 明彦 松岡 保彦 八釣 重雄 [福知山支部] 安達 寛司 衣川 憲治 塩見 満 細見 均 [宮津支部] 糸井 正樹 山添 謙三 山井 嘉文
---	---	---	--	--	---

[舞鶴支部]
 上原 正夫
 片又 昇
 松下 弘
 山田 忠雄
[峰山支部]
 林 同来
[神戸支部]
 相内 隆作
 石谷全治郎
 伊藤 勝皓
 今井 廣正
 岩木 秀臣
 岩木 英一
 大城戸武子
 岡本 浩明
 加古 雅男
 川岸 司
 坂井 昭彦
 清水 明
 鈴木知津雄
 竹中征二郎
 樽井 博
 永野 卓美
 西馬 正義
 西原 靖夫
 森 優子
 和田 善弘
[灘支部]
 池田 進
 岡村 景明
 長谷川隆史
[須磨支部]
 奥田 一弘
 長田 義博
 中野 裕之
 柰田 裕顯
[兵庫支部]
 石田 高雄
 北野 参則
 多鹿 秀夫
 二川 和良
[長田支部]
 岡田 洋祐
 光齋 信治
 佐藤 信夫
 下田 順司
 高井 秀樹
 福田 隆彦
 横井 保夫
[芦屋支部]
 岡田 洋
 開発 一三
 垣見 正孝
 柏木 勝志
 蟬川 寛嗣
 寺内 設昭
 寺内 華子
 南木 二郎
 光永きみ子
 村松 公人

森本 康正
 山本 雅一
[明石支部]
 河合 正美
 北村 光子
 徳富 勲
 西木 秀和
 三浦八重子
[加古川支部]
 有村 昌紀
 小川 幸夫
 阪口 正
 坂下 雅一
 中島 省悟
 藤原 千明
[西宮支部]
 入江 洋
 浦濱 勇
 木下 博夫
 木下 雅晴
 久保多佳子
 小塩 明
 阪上 恭一
 指田 文雄
 沢田 実
 近田 勝介
 東耕 功
 友松 悦子
 中寄ゆかり
 永田 清行
 長沼 隆弘
 西山 幸一
 野畑 英孝
 松下 好式
 村田キヨ子
 森本 幸子
 八重垣宏司
 横山 文彦
[尼崎支部]
 岩泉 周治
 岩泉 恒屋
 川上 厚紀
 岸野 正信
 佐藤 寛
 佐茂 省治
 辻子 房子
 西浦 文彦
 早草 茂
 三島佐和子
 宮本 信一
 森川 幸敏
 山陰 雅史
 吉田 彰宏
 若原 昭
[伊丹支部]
 伊田 憲司
 岡田 彰徳
 小田 長正
 永岡 英信
 畑中 啓三
 山口 正

[柏原支部]
 梅澤 正義
 西田 春夫
[洲本支部]
 隈下 佳剛
 真野 耕治
[姫路支部]
 上野 政則
 小笠原公昭
 折山 正
 梶本 良祐
 川内 保幸
 北岡 昭
 後藤加代子
 澤田 樹
 澤田 千博
 島本八洲弘
 永尾 清貴
 中野徳治郎
 西村 靖彦
 西本美喜雄
 橋本 敬司
 藤岡 保
 山本 清尊
[三木支部]
 藤本 清
[西脇支部]
 池田 博文
 後藤喜代司
 園崎 仁
 橋尾 哲夫
[社支部]
 黒石 淳司
 吉田 稔
[龍野支部]
 大谷 充廣
 酒本 浩佳
[相生支部]
 津村 孝博
 細川 昇二
 森 正春
[豊岡支部]
 亀村 亀雄
 北見 龍彦
[奈良支部]
 青木 幸子
 今崎 善彦
 岩本 洋二
 上松 康員
 大平 浩司
 大村恵美子
 景山 良一
 北村 吉春
 黒田 有紀
 島田 明
 新屋 珠美
 新屋 昇
 武野 勝文
 谷口 晴康
 徳久亮太郎
 中垣 安嗣

中寫 大
 中谷 英適
 西 親教
 西川 孝敏
 濱田 武利
 村田 昭
 山本 智美
 山本 佳史
[葛城支部]
 新子恵美代
 乾 裕俊
 菊川 信子
 木下 徳一
 郡 和世
 近藤 洋
 齊藤 勝久
 赤築 伸久
 杉垣 輝樹
 田中 俊男
 棚田 敏正
 田村久美子
 辻井 賢博
 出川 洋
 富井 信顯
 中川憲二郎
 中島 誠
 西田 吉富
 藤田 徹
 丸田 隆英
 三谷 清重
 山本 眞市
 吉田 廣彰
[吉野支部]
 里田 好
 谷 正仁
[桜井支部]
 岩田佐起子
 杉本 幸弘
 高田 純吉
 高田 雅信
 谷口 好克
 西峯 慶子
[和歌山支部]
 淡路 満
 石倉 督斗
 鶴島 幸夫
 内原 健
 大住 文夫
 大谷 彰秀
 大西 省悟
 大森 文男
 岡野 良平
 勝田 晃夫
 金岡 孝明
 川口 昌紀
 川邑 宗司
 木村 尚之
 木村 雅彦
 後安 宏彦
 小谷 匡
 小西 里枝

齋藤 恒明
 田中 康磨
 田中 佳則
 津村 眞吾
 内藤 博次
 西岡 義高
 西川 宏
 西本 和生
 額田 朋子
 野志 幸雄
 野田 馨
 服部 潔
 藤原 剛治
 藤原 光男
 堀 博充
 宮下 良一
 山中 盛義
 山本 修司
 湯川 直樹
[海南支部]
 加藤 正彦
 岸 友子
 中尾 彰
 橋爪 康樹
 宮尾 文也
 矢本 浩之
[粉河支部]
 花井 敏晋
 森村 透
 山本 孝宏
[湯浅支部]
 井谷 福市
 成田 誠治
 沼田 信也
[御坊支部]
 石永 善裕
 片山 孝之
 佐竹 節夫
 原 均
 南川 敦
[田辺支部]
 尾崎 幸宏
 中谷 聡
 松本 順子
 溝端 昭雄
[新宮支部]
 柳川 弘
[大津支部]
 伊藤 孝夫
 小倉 一訓
 織戸 英信
 金子 紀行
 川嶋 喜弘
 木下 三郎
 久保 卓巳
 久保 直己
 高細 和行
 畠山 讓治
 畠山 昌輝
 林 繁里
 松尾 宏文

横井 昭次
 横井 慎也
[今津支部]
 川上 長和
 河原田新市
 小畑 雅人
 辻 剛
 戸次威左武
[草津支部]
 浅井 庄平
 小澤 康宏
 上西 祥之
 鷹羽 稔郎
 田中 正志
 田村ひさ子
 中川 徳親
 中島 誉子
 西村 宏
 橋本 淳
 増井 常夫
 村田 正和
 保井 順喜
[水口支部]
 井上美智江
 今村 新奎
 木田 嘉明
 鈴木 勝博
 山本 善通
[近江八幡支部]
 上野 安徳
 大林 博治
 奥村 達之
 川添 涉
 川並 和平
 小西 良一
 左近 和男
 澤田 匡央
 嶋林 博之
 西村 純史
 西村 典夫
 久村 和恵
 肥田美重子
 堀 眞澄
 宮川 憲治
 山本 治三
[彦根支部]
 辻 哲雄
 西堀 勝美
 松本 幸雄
 三輪 和宏
[長浜支部]
 河上 喜全
 小高 寛三
 篠原 一儀
 中川 高志
 本城 善男
 箕浦 康之

※平成29年6月30日まで募金を受付しております。振込方法など詳細につきましては、同封の別紙「設立50周年 協力募金のご願い」をご覧ください。

目に見えぬ利便の対価性

この原稿は、確定申告明けに書いております。毎年何十件とある医療費控除で医療費の領収証と一緒にスナックの領収証が数枚入ってございました。若い頃には、この人何考えてんの???と呆れて絶句しました。ところが、還暦を過ぎた今になりますと、病気や怪我の医療費ばかりでなく、スナックに行けるほど元気になったよと本人はアピールしたいのではないかと思えるようになりました。加齢と共に飲み代が減る一方、医療費が増えて困ると同業者の先輩はぼやいています。

ここ何年か、医療費控除もさることながら、寄附金控除の適用も増えてきました。ふるさと納税の返戻品人気も普及の起爆剤となったことは周知のとおりです。「思い入れのある地域を応援したい」という制度の趣旨から逸脱して、各自治体の返戻品競争に拍車がかかったのも事実です。

元来、寄附金は反対給付を求めない支出であり、納税が寄附金の支出にすり替わらないように、控除額には一定の限度額が設けられているのはご存知のとおりです。反対給付即ち見返りを何ら求めることなく支出するのが寄附の動機であり、返戻品目当ての寄附はどうかと思います。

税理士政治連盟の活動の成果は、目に見えない無形の反対給付があるのに、これに対して応分の負担をするか、或いはしないかその判断基準はどこにあるのでしょうか。求めよ、されば与えられんというのであれば、与えられた見返りとしての負担は必要不可欠で、同業者団体に対して利益や便宜が与えられた場合には、当然のこととして、団体の構成員にその負担が一律に求められて当然であると考えます。

税理士政治連盟の役割・存在意義を今一度考えてみてはどうでしょうか。

(上京支部 東 智之)



近税政本部のうごき

- 財務・組織合同委員会（4月4日）
 - 平成28年度会費納入勧奨のための支部訪問について
 - 会員研修会の開催について 他
- 第5回広報委員会（4月7日）
 - 機関紙第221号（新年号）および第222号（3月号）の批評
 - 機関紙第223号（5月号）の編集に関する件
 - 機関紙第224号（6月号）の編集企画に関する件 他

最新情報はホームページにアクセス!

近 税 政

検 索

または <http://kinzeisei.jp/> ^

会員専用ページのパスワードのお問い合わせは事務局まで

「表紙」題字:「第4回川柳・書道コンテスト」
書道テーマ部門 最優秀会長賞作品
(作=小倉さやか 上京支部)

銀河系

『議員報酬』



確定申告時期に、地方議員から申告して欲しい旨連絡があった。資料は、給与の源泉徴収票のみ。「議員報酬」なので、確定申告する必要があると聞いたらしい。

そもそも、「議員報酬」とは、地方議会の議員に対して支払われる報酬のことで、実質は議員に対する「給与」である。よって、給与所得以外に所得がなければ、議会事務局で年末調整が済んでいるので、確定申告する必要がない。国会議員の歳費も議員報酬と同様、実質は「給与」である。

確定申告している議員はたくさんおられるだろうが、改めて、税の仕組みの全般(良いところ悪いところ全て)を理解してもらうためにも、少なくとも、議員は年末調整で済ませるべきではないと思う。

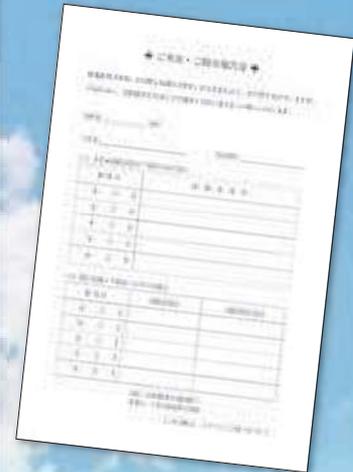
確定申告を行うことによって、納税者意識も向上するのではないかと思う。

(和歌山支部 小西里枝)

あっせん提携企業ご利用のおすすめ

提携企業約80社の
提携内容・特典など
を掲載

組合員・賛助会員
みなさまのご利用を
お待ちしております



利用状況把握のため、
巻末の◆ご利用・ご紹介報告書◆の
提出にご協力ください

- 税理士業務関連** 報酬自動支払制度・事務用品・人材派遣など
- 不動産関連** 戸建・マンションなどの売買・リフォームなど
- 生活・健康・レクリエーション関連** 生活用品・衣料・検診・観劇チケット・旅行・ゴルフなど
- その他** クレジットカード・自動車保険・火災保険など
- WEB販売** 電化製品・書籍・筆記用具

さまざまな企業と
提携しておりますので、
仕事やプライベートに
ご利用ください。

お問い合わせ 大阪・奈良税理士協同組合 事務局 TEL : 06-6941-6888

～阪奈蔵書コーナーに 約470冊を追加しました～

近畿税理士会館2F・5Fに**阪奈蔵書コーナー**を
設置しています。

(現在2,700冊以上の税務関係書籍を配架)



大阪・奈良税理士協同組合

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4(近畿税理士会館11F)
TEL(06)6941-6888/FAX(06)6947-2800
URL : <http://www.hanna-zeikyo.jp>